



岡山大会を終えて ～新たな歴史の51年目～

全国肢体不自由特別支援学校P T A連合会
会 長 濱 川 浩 子
(東京都立墨東特別支援学校P T A会長)

平成 20 年度全国肢体不自由特別支援学校P T A連合会総会においてご承認を頂き、新会長に就任致しました。本年の総会では 50 年の歴史である全国肢体不自由養護学校P T A連合会から新たに「全国肢体不自由特別支援学校P T A連合会」と改めました。同時に、児童・生徒一人(年間) 350 円の会費を来年度 4 月から 400 円と(平成 21 年度素案算出資料参照) ご承認頂きました。12 年間、予算の改定がありませんでしたので、時代の流れとご理解頂けたと思っています。

私はこの度の総会、岡山大会に主催者として参加し、全国の肢体不自由特別支援学校のP T Aの代表である職務に責任の大きさと重さを感じました。これからも子どもたちの学校生活がより充実したものになるよう皆様のご理解、ご協力のもと会長を務めて参る所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、同日にP T A・校長会合同研究大会「岡山大会」が 8 月 20・21 日の両日、岡山コンベンションにて開催されました。大会研究主題は「子どもたち一人一人のニーズに応じた特別支援教育・肢体不自由教育の取り組みおよび共生社会づくりのため、P T A活動はどうあるべきか」のもと分科会を行いました。

20 日の基調講演では「これからの肢体不自由教育とP T A活動の役割」をテーマに、文部科学省特別支援教育課の下山直人様から、一人一人に応じた「生きる力」をはぐ

くむことの大切さをお話頂きました。

分科会は「子どもたちをとりまくネットワーク」のもと「学校」「地域」「福祉」「労働」「医療」「機器」の 6 つに別れ行われました。指導・助言者には各分野の先生方をお願い致しました。厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課の障害福祉専門官 茅根孝雄様には第 3 分科会「福祉」をご担当頂き、同省の職業安定局高齢・障害者雇用対策課の障害者雇用専門官吉澤純様(本年新たに赴任)には、第 4 分科会「労働」をお願いしました。

21 日には「鼎談」を設けまして、全国特別支援学校肢体不自由教育校長会会長(東京都立あきる野学園校長)の池田敬史校長先生、肢体不自由教育、発達教育に携わっておられる筑波大学准教授川間健之介様、自立支援法の見直し検討会の委員であり、医師でもある姫路市総合福祉通園センター長宮田広善様のお三方に、「子どもたちの生涯にわたる特別支援教育の実現を目指して」をテーマにお話を頂きました。大会参加の教職員、保護者の皆様には最終日まで関心を持ってご参加頂いた事と思います。

最後になりましたが、この全国大会を開催するにあたり、中国・四国ブロックをはじめ、大会運営にあたられた主管校の岡山県立岡山養護学校ならびに岡山大会実行委員の保護者、教職員の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。有難うございました。

第51回(平成20年度) 総会報告

平成20年8月20日(水)岡山コンベンションホールにて、平成20年度全肢P連総会が行われました。提案された議題は総て承認されましたので、以下の通り報告いたします。

(全肢P連事務局長 佐竹京子)

司会 本部事務局長 佐竹京子

1. 会長挨拶

全肢P連会長(東京都立光明特別支援学校PTA会長)

江本 緑

2. 新規加入PTA紹介等

岡山県立西備養護学校
佐賀県立うれしの特別支援学校
熊本県立芦北養護学校

3. 議長選出

中国・四国地区 高知県立高知若草養護学校P会長

柴岡 正二

九州地区 鹿児島県立鹿児島養護学校P会長

上山 哲郎

4. 議事

【総会議案の承認に関する件】

(1) 平成19年度事業報告

全肢P連会長 江本 緑

(2) 平成19年度会計決算報告

本部会計 工藤 明子

(3) 平成19年度会計監査報告

監事(東京都立小平特別支援学校長)

中原 理晴

(4) 退任挨拶

全肢P連会長 江本 緑

平成20年度新役員提案

(5) 平成20年度新役員代表

全肢P連新会長(東京都立墨東特別支援学校PTA会長)

濱川 浩子

(6) 平成20年度事業計画(案)

全肢P連新会長 濱川 浩子

(7) 平成20年度(案)・21年度会計予算(素案)

本部会計 工藤 明子

(8) 規約改正(案)について

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会長

(東京都立あきる野学園 校長)

池田 敬史

(9) 表彰者の確認と顧問の推薦

全肢P連新会長 濱川 浩子

5. 議長解任

6. 感謝状贈呈と顧問の承認

平成19年度事業報告

1. 第1回役員会

平成19年8月19日(日) 11:00~13:30

於: ウェスティン都ホテル京都

●主な審議事項

- (1) 平成18年度事業報告
- (2) 平成18年度会計決算報告
- (3) 平成18年度会計監査報告
- (4) 平成19年度役員
- (5) 平成19年度事業計画
- (6) 平成19年度会計予算

2. 第2回役員会

平成20年1月24日(木) 11:00~15:00

於: 世田谷区立総合福祉センター

東京都立光明養護学校研修室

●主な審議事項

- (1) 「京都大会」の報告
- (2) 平成19年度事業中間報告・会計中間報告
- (3) 全肢P連「岡山大会」の実施計画等について
- (4) 平成20年度事業計画案・会計予算案の承認
- (5) 全肢P連規約・細則の改定について

3. 総会及び研究大会『全肢P連結成50周年記念(京都大会)』

平成19年8月19日(日)~21日(火)

於: ウェスティン都ホテル京都

主 題 「21世紀に生きるこどもたちの、生きがいと自立を支える特別支援教育・肢体不自由教育および社会づくりの推進のため、PTA活動はどうあればよいか」

- (1) 会員研修 「新しい支援の風を」~障害者施策のこれからを考える~

厚生労働省社会・援護局障害福祉部企画課長

藤木 則夫氏

- (2) 全肢P連結成50周年記念式典

お言葉 高円宮妃殿下

祝 辞 文部科学大臣

厚生労働大臣

全国特別支援教育推進連盟理事長

- (3) 基調講演 「これからの特別支援学校の在り方について」
文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長

永山 裕二氏

- (4) 記念講演

「日本人の笑い」~狂言~

大蔵狂言師 茂山 千三郎氏ならびに茂山社中

(5) 分科会 「子どもたちをとりまくネットワーク」

- 第1分科会 「学校」
- 第2分科会 「地域」
- 第3分科会 「福祉」
- 第4分科会 「労働」
- 第5分科会 「医療」
- 第6分科会 「機器」

(6) 記念シンポジウム

「肢体不自由教育のこれまでとこれから」
～特別支援学校におけるPTAの役割を考える～

【コーディネーター】

筑波大学附属久里浜特別支援学校 校長
西川 公 司 氏

【シンポジスト】

全国肢体不自由養護学校PTA連合会会長
江 本 緑
全国肢体不自由養護学校PTA連合会近畿地区前会長
澤 田 公 美
全国肢体不自由養護学校PTA連合会顧問
佐 竹 京 子
長崎県教育庁 特別支援教育室長 古川 勝也氏
文部科学省初等中等教育局特別支援教育課
特別支援教育調査官 下山 直人氏

(7) 全体講評

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課
特別支援教育調査官 下山 直人氏
厚生労働省社会援護局障害福祉部障害福祉課
障害福祉専門官 茅 根 孝 雄 氏
厚生労働省職業安定局高齢・障害者雇用対策障害者雇用
対策課 障害者雇用専門官 市 川 浩 樹 氏
全国特別支援教育推進連盟
理事長 三 浦 和 氏

4. 会報の発行

- (1) 第80号 会 報 平成19年7月15日 20,000部発行
- (2) 第81号 会 報 平成19年10月15日 20,000部発行
- (3) 第82号 会 報 平成19年12月15日 10,000部発行
＜全国大会 結成50周年（京都大会）特集号＞

5. 全国心身障害児福祉財団事業

【国庫補助事業】

《保護者研修会》

- 全肢P連本部 20年1月24日(木) 45名
「新しい学習指導要領と特別支援学校について」
- 九州ブロック 大分県立別府養 8月1日(水) 65名
①「食育について」
②「リラックスできる泳ぎ方」
- 東京都 東京都立八王子東養 11月27日(火) 116名
「コミュニケーション」
～障害が重い子のコミュニケーション能力、内的言語世界
の積み上げ方～

《ボランティア研修会》

- 近畿ブロック 神戸市立垂水養 7月7日(土) 130名

①「重度重複障害児の介助及び車いすの扱い方」

②「夏祭り」

- 中国・四国ブロック 徳島県立板野養 7月26日(木) 72名

①「ボランティアさんとエンジョイライフ」

②「スポーツレクリエーションをたのしもう」

《在宅重度障害児集団療育事業》

- 中部ブロック 豊田市立豊田養 10月6日(土)～7日(日) 35名

①正しい姿勢の取り方と補装具の使い方

②重度障害児の療育で気をつけること

③口腔ケアについて

- 近畿ブロック 大阪府立堺養 8月7日(火)～8日(水) 27名

①座位・膝立ちでの動作訓練

②立位的訓練の実際

- 中国・四国ブロック 鳥取県立皆生養 7月26日(木)～27日(金) 67名

①セラピーボールを使ってリラックスしよう

②障害のある子どもの口腔ケア

【社会福祉法人全国心身障害児福祉財団主催事業】

《競輪場を利用した地域指導者養成研修会》

群馬県前橋市、香川県観音寺、富山県富山市、三重県四日
市、和歌山県和歌山市

6. 関係団体事業および行事等への参加

- (1) 関係各省庁への陳情および会議などへの参加要請
 - 文部科学省 特別支援教育課へ
5月28日(月)、9月7日(金)、20年1月10日(木)
 - 厚生労働省 障害福祉課および雇用対策課へ
5月28日(月)、9月7日(金)
 - 高円宮家へ 記念大会御成の御礼ならびに記帳
9月6日(木)
- (2) 内閣府「障害者週間の集い」
 - 「アジア太平洋障害者の十年（2003～2012）」中間年記念
「障害者の集い」出席
12月6日(木) 於：有楽町ホール（マリオン11F）
 - 同日「内閣総理大臣表彰」を授賞
- (3) 全国特別支援教育推進連盟理事会および行事への参加
 - 理事会 5月18日(金)、7月13日(金)、10月12日(金)、
20年2月8日(金)
- (4) 社会福祉法人全国心身障害児福祉財団会議等への参加
 - 父母連絡会議 4月10日(火) 於：財団4階会議室
 - 評議員会 5月22日(火) 於：財団4階会議室
- (5) 社会福祉法人日本肢体不自由児協会
「第26回日本肢体不自由児・者の美術展」常陸宮殿下のご
臨席のもと開催、表彰式および作品鑑賞 12月6日(木)
於：東京芸術劇場
全国肢体不自由養護学校PTA連合会賞の授与（敬称略）
（絵画の部）
鹿児島県立鹿児島養護学校（小5）久 富 芳 樹
東京都立村山養護学校（中1）竹 内 莉 恵

平成 19 年度 会計決算報告

<収 入>

(単位：円)

項 目	19 年度予算	19 年度決算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	367,447	367,447	
会 費	6,134,100	6,134,100	199 校分担金 (350 円×17,526 人児童生徒数)
日本自転車振興会補助金	859,000	859,000	日本自転車振興会補助金 (会報第 82 号大会号 1,146,000 円の内の補助分)
国 庫 補 助 事 業 費	1,240,000	1,240,000	別紙内訳
社会福祉医療機構助成費	0	0	平成 19 年度はなし
寄 付 金	0	0	
雑 収 入	400,000	467,357	保険手数料、オムツ手数料、利子等
合 計	9,000,547	9,067,904	

<支 出>

項 目	19 年度予算	19 年度決算	摘 要
会 議 費	400,000	308,650	大会 20 万、役員会 5 万×2、その他会議
研 修 費	850,000	958,888	大会 60 万、事務局大会参加費、関係団体研修等
会 報 費	2,000,000	2,083,932	80 号、81 号、82 号 (大会報告集の補助分含む) 会報代
関 係 団 体 分 担 金	139,000	139,000	推進連盟 91,000 円 美術展 40,000 円 日教教研 8,000 円
渉 外 費	70,000	71,970	他団体祝い金、周年行事出席、香典・他
地 区 助 成 費	420,000	420,000	70,000 円×6 ブロック
交 通 費	350,000	282,900	会長、事務局員大会参加費、一般交通費、会長他大会参加費
通 信 費	650,000	615,756	電話、郵券、会報郵送費、振込み料、宅急便代、他
事 務 局 運 営 費	2,550,000	2,470,112	事務所使用料、事務局員給料、<かたつむり>派遣支払い
国 庫 補 助 事 業 費	1,240,000	1,240,000	別紙内訳
社会福祉医療機構助成費	0	0	平成 19 年度はなし
事 務 用 品 費	180,000	176,645	封筒、消耗品、一般文書印刷・他
備 品 費	50,000	30,482	パソコン関連 (修理・メンテナンス費含む) 備品、他
雑 費	30,000	34,730	貸し金庫使用料・他
予 備 費	71,547	30,000	
特 別 会 計	0	0	なし
次 年 度 繰 越 金		204,839	
合 計	9,000,547	9,067,904	

国庫補助事業費内訳

項 目	19 年度予算	19 年度決算	適 用	
国 庫 補 助 事 業	保 護 者 研 修 会	30,000	30,000	本部事務局
		30,000	30,000	九州ブロック
		30,000	30,000	東京
	ボ ラ ン テ ィ ア 研 修 会	50,000	50,000	近畿ブロック
		50,000	50,000	中国・四国ブロック
	在 宅 重 度 障 害 児 集 団 療 育 事 業	350,000	350,000	中部ブロック
		350,000	350,000	近畿ブロック
		350,000	350,000	中国・四国ブロック
	合 計	1,240,000	1,240,000	

決 算 報 告

上記の通り平成 19 年度の収支決算を報告いたします。
平成 20 年 3 月 31 日

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会
会 長 江 本 緑 ㊟
会計・庶務 工 藤 明 子 ㊟

会 計 監 査 報 告

平成 20 年 4 月 17 日 監査を実施した結果、適正に処理されていることを認めます。
平成 20 年 4 月 17 日

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会
監 事 中 原 理 晴 ㊟
監 事 濱 川 浩 子 ㊟

- 運営委員会 9月28日(金) ●審査会 10月17日(水)
- (6) 日本肢体不自由教育研究運営委員会および大会への参加
- 総会および運営委員会 5月26日(土)、運営会議 6月23日(土)、7月14日(土)、9月15日(土)、20年1月19日(土)、2月16日(土)
 - 研究大会 8月9日(木)～10日(金)
於：タワーホール船堀(東京都江戸川区)
 - 第1回日本肢体不自由教育研究大会へ参加
12月15日(土)
於：筑波大学東京キャンパス
- (7) 各地区主催の肢体不自由養護学校PTA・校長会合同研究協議会等への参加
- 都肢P連総会へ 5月15日(火)
 - 関肢P連理事会へ 5月16日(水)、20年1月16日(金)
 - 第43回関東・甲越地区肢体不自由養護学校PTA連合会総会及びPTA・校長会合同協議会(栃木大会)へ出席 7月29日(日)～30日(月)
- (8) 50周年記念京都大会関係の会議等
- シンポジウム打ち合わせ 6月30日(土)
於：財団4階会議室
 - 京都大会および50年史編集作業の打ち合わせ
7月27日(金)、8月7日(火)
於：呉竹総合支援会議室
 - 京都大会と岡山大会の引き継ぎ 11月9日(金)
於：京都市立呉竹総合支援学校会議室
7. 関係友好団体への後援
- 第31回日本肢体不自由教育研究大会
 - (平成19年度)「肢体不自由児・者の美術展」日本肢体不自由児協会
 - 平成19年度(第40回)東北・北海道地区肢体不自由養護学校長・PTA会長合同研究協議会 一北海道大会一
 - 第40回全国肢体不自由児・者父母の会連合会全国大会佐賀大会
第23回九州ブロック肢体不自由児者父母の会連合会全国大会佐賀大会 に伴う
 - 「ミプロキッズフェア2007」(東京池袋・神戸)
 - 第45回中部地区肢体不自由教育研究会(静岡大会)
 - 第30回てんかん基礎講座 協賛
 - 第34回(社)日本てんかん協会全国大会 in あいち 協賛
 - 平成19年度 第43回関東・甲越地区肢体不自由養護学校PTA会長総会及びPTA・校長会合同研究協議会栃木大会
8. その他
- 葬儀 9月25日(火) 顧問 石川 昌次様(9月22日ご逝去)
 - 都立あきる野学園公開講座へ参加 20年1月18日(土)
 - 日本肢体不自由教育研究会理事長村田茂氏の叙勲ならびに高木賞の受賞を祝う会へ出席 20年2月17日(日)
於：フロラシアン青山
 - 内閣総理大臣表彰を祝う会を開催 20年3月2日(日)
於：小田急サザンタワー

9. 全肢P連安心保障制度の加入状況

平成19年度加入件数 913件
事務手数料 407,656円

10. 紙オムツ団体扱い購入手数料

リブドゥコーポレーション 48,411円
大王製紙(セイノー商事) 7,600円
計 56,011円

11. 表彰者の確認

平成18年度 第49回全肢P連「岐阜大会」実行委員会
(岐阜県立関養護学校 前PTA会長)

奥田和子様

(株)損害保険ジャパン

代表取締役 佐藤正敏様

平成20年度事業計画

1. 総会及び研究大会

平成20年8月19日(火)～21日(木)

於：岡山コンベンションセンター

主 題 「子どもたちの一人一人のニーズに応じた特別支援教育・肢体不自由教育の取り組みおよび共生社会づくりの為、PTA活動はどうあるべきか」

- (1) 基調講演
- (2) 分科会 「子どもたちをとりまくネットワーク」
 - 第1分科会 「学校」
 - 第2分科会 「地域」
 - 第3分科会 「福祉」
 - 第4分科会 「労働」
 - 第5分科会 「医療」
 - 第6分科会 「機器」
- (3) 会員研修 「鼎談」
- (4) 全体講評

2. 役員会

- (1) 平成20年8月19日(火)
- (2) 平成21年1月予定

3. 会報の発行

- (1) 第83号 会報 平成20年7月15日 20,000部発行
- (2) 第84号 会報 平成20年10月15日 1,000部発行
- (3) 第85号 会報 平成20年12月15日 10,000部発行
<全国大会(岡山大会)特集号>

4. 全国心身障害児福祉財団事業

【国庫補助事業】

《保護者研修会》

本部
近畿ブロック

東京都

《ボランティア研修会》

関東・甲越ブロック
中部ブロック

《親子ふれあいキャンプ療育事業》

北海道・東北ブロック
関東・甲越ブロック
九州ブロック

【社会福祉法人全国心身障害児福祉財団主催事業】

《競輪場を利用した地域指導者養成研修会》

5. 関係団体事業および行事への参加

6. 関係友好団体への後援

7. 表彰者の確認と顧問の推薦

全国肢体不自由養護学校PTA連合会 前会長
江本 緑 様

(東京都立光明特別支援学校PTA会長)

*全肢P連前会長 江本緑様は顧問として承認されました。

平成19年度 全肢P連結成50周年記念「京都大会」実行委員会

主管校 京都府立向日が丘養護学校前PTA会長

小林 整 様

平成19年度 全肢P連結成50周年記念「京都大会」実行委員会

共同主管校 京都市立呉竹総合支援学校PTA会長

黒川 愛子 様

全国心身障害児福祉財団事業実施地区割り当て

年 度			平成20年度	平成21年度	平成22年度
国 庫 補 助 事 業	保 護 者 会 研 修 会	3回	本 部 近 畿 東 京	本 部 関 東 ・ 甲 越 東 京	本 部 中 部 東 京
	ボ ラ ン テ ィ ア 研 修 会	2回	関 東 ・ 甲 越 中 部	北 海 道 ・ 東 北 九 州	近 畿 中 国 ・ 四 国
	親 子 ふ れ あ い キ ャ ン プ 療 育 事 業	3回	北 海 道 ・ 東 北 関 東 ・ 甲 越 九 州	中 部 近 畿 中 国 ・ 四 国	北 海 道 ・ 東 北 関 東 ・ 甲 越 九 州

*当該年度の事業のブロック別分担は、定められた順番(上図参照)で進められており、ブロック毎に担当の学校を4月中旬頃に決定し、各ブロック事務局より本部事務局へ連絡をお願いしています。(財団へ提出する書類が5月中です)。

*平成19年度までの重度在宅療育事業は平成20年度は「親子ふれあいキャンプ療育事業」へ事業名・内容が変わりました。

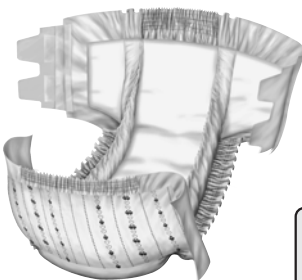
リブドゥ テープ止めタイプ
ジュニア

ベビー用より大きく大人用より小さいサイズ

スキマのモレをガードします

ヒップサイズ

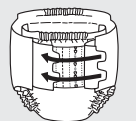
50cm~80cm



- 身体丸みに合わせたカタチ
- 左右に広げた立体ギャザー
- 前後のしっかりガードギャザー
- 強度のある粘着テープ

優れたポイント

ヒップサイズが小さい方には、白いテープの上に重ねてつけられるので、より身体にフィットします。



消臭ポリマー配合



はくパンツ® 男女兼用

ジュニア

ベビー用より大きく大人用より小さいサイズ

やわらかくはきやすい

ウエストサイズ

45cm~60cm



- ゆったりソフトギャザー
- 股下すっきり
- 横モレ防止ギャザー
- 全面通気性シート
- 前後がわかりやすい

消臭ポリマー配合

サンプル請求／宅配購入を、ご希望の場合は まごころサポート フリーダイヤル **0120-062-055**

お申し込みの際「養護学校生」とお伝えください。

●テープ止めタイプジュニア1袋(34枚入)…2,780円 ●はくパンツジュニア1袋(24枚入)…1,980円 ※いずれも消費税込み

商品、試供品に関するお問い合わせは(株)リブドゥコーポレーション マーケティング部 フリーダイヤル:0120-271-361



株式会社リブドゥコーポレーション 〒541-0048 大阪市中央区瓦町1丁目6番10号

平成 20 年度 会 計 予 算

<収 入>

(単位：円)

項 目	19 年度予算	20 年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	367,447	204,839	
会 費	6,134,100	6,176,450	202 校分担金 (350 円×17,647 人児童生徒数)
日本自転車振興会補助金	859,000	859,000	日本自転車振興会補助金 (大会特集号 1,146,000 円の中の補助分)
国 庫 補 助 事 業 費	1,240,000	1,180,000	別紙内訳
社会福祉医療機構助成費	0	0	実施なし
寄 付 金	0	0	
雑 収 入	400,000	400,000	保険手数料、オムツ手数料、利子等
合 計	9,000,547	8,820,239	

<支 出>

項 目	19 年度予算	20 年度予算	摘 要
会 議 費	400,000	400,000	大会 20 万、役員会 5 万×2、その他会議
研 修 費	850,000	850,000	大会 50 万、事務局大会参加費、関係団体研修等
会 報 費	2,000,000	1,800,000	83 号、84 号、85 号 (大会報告集の補助分含む) 会報費
関 係 団 体 分 担 金	139,000	139,000	推進連盟 91,000 円 美術展 40,000 円 日肢研 8,000 円
渉 外 費	70,000	70,000	他団体祝い金、周年行事出席、香典・他
地 区 助 成 費	420,000	420,000	70,000 円×6 ブロック
交 通 費	350,000	350,000	会長活動費、事務局員大会参加費、一般交通費、他
通 信 費	650,000	700,000	電話、郵券、会報発送費、保険振込料、その他振込み料等
事 務 局 運 営 費	2,550,000	2,550,000	事務所使用料、事務局員給料、<かたつむり>派遣支払い
国 庫 補 助 事 業 費	1,240,000	1,180,000	別紙内訳
社会福祉医療機構助成費	0	0	実施なし
事 務 用 品 費	180,000	180,000	封筒、消耗品、一般文書印刷、他
備 品 費	50,000	100,000	パソコン関連 (修理・メンテナンス費含む) 備品、他
雑 費	30,000	40,000	貸し金庫使用料・他
予 備 費	71,547	41,289	
特 別 会 計	0	0	なし
合 計	9,000,547	8,820,289	

国庫補助事業費内訳

	項 目	19 年度予算	20 年度予算	適 用
国 庫 補 助 事 業	保 護 者 研 修 会	30,000	30,000	本部
		30,000	30,000	近畿ブロック
		30,000	30,000	東京
	ボランティア研修会	50,000	50,000	関東・甲越ブロック
		50,000	50,000	中部ブロック
	親 子 ふ れ あ い キ ャ ン プ 療 育 事 業	350,000	330,000	北海道・東北ブロック
		350,000	330,000	関東・甲越ブロック
		350,000	330,000	九州ブロック
		合 計	1,240,000	1,180,000

*国庫補助事業費予算に記載違いがありました。

21 年度予算の算出資料

平成 21 年度 会 計 予 算 (素案)

<収 入>

(単位：円)

項 目	20 年度予算	21 年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	204,839	300,000	
会 費	6,176,450	6,800,000	202 校分担金 (400 円×17,000 人児童生徒数)
日本自転車振興会補助金	859,000	859,000	日本自転車振興会補助金 (大会特集号 1,146,000 円の中の補助分)
国 庫 補 助 事 業 費	1,180,000	1,180,000	別紙内訳
社会福祉医療機構助成費	0	0	実施なし
寄 付 金	0	0	
雑 収 入	400,000	400,000	保険手数料、オムツ手数料、利子等
合 計	8,820,289	9,539,000	

* 児童生徒数は見込みです。

<支 出>

項 目	20 年度予算	21 年度予算	摘 要
会 議 費	400,000	500,000	大会 30 万、役員会 5 万×2、その他会議費
研 修 費	850,000	950,000	大会 60 万、事務局大会参加費、関係団体研修等
会 報 費	1,800,000	2,100,000	86 号、87 号、88 号 (大会報告集の補助分含む) 会報費
関 係 団 体 分 担 金	139,000	139,000	推進連盟 91,000 円 美術展 40,000 円 日肢研 8,000 円
渉 外 費	70,000	100,000	他団体祝い金、周年行事出席、香典・他
地 区 助 成 費	420,000	480,000	80,000 円×6 ブロック
交 通 費	350,000	400,000	会長活動費、事務局員大会参加費、一般交通費、他
通 信 費	700,000	700,000	電話、郵券、会報発送費、保険振込料、その他振込み料等
事 務 局 運 営 費	2,550,000	2,550,000	事務所使用料、事務局員給料、<かたつむり>派遣支払い
国 庫 補 助 事 業 費	1,180,000	1,180,000	別紙内訳
社会福祉医療機構助成費	0	0	実施なし
事 務 用 品 費	180,000	200,000	封筒、消耗品、一般文書印刷、他
備 品 費	100,000	200,000	パソコン関連 (修理・メンテナンス費含む) 備品、他
雑 費	40,000	40,000	貸し金庫使用料・他
予 備 費	41,289	0	
特 別 会 計	0	0	なし
合 計	8,820,289	9,539,000	

平成 20 年度 全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会役員名簿

役職名	氏 名	所 属	ブ ロ ッ ク	備 考
会 長	濱 川 浩 子	東京都立墨東特別支援学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	
副 会 長	池 田 敬 史	東京都立あきる野学園校長	関 東 ・ 甲 越	全肢長会長
〃	東 ま す み	東京都立八王子東特別支援学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	都肢 P 連会長
〃	平 間 清 志	宮城県立船岡養護学校 P T A 会長	北 海 道 ・ 東 北	ブ ロ ッ ク 長
〃	北 島 日 和	東京都立江戸川特別支援学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	ブ ロ ッ ク 長
〃	牧 島 千 広	長野県稲荷山養護学校 P T A 会長	中 部	ブ ロ ッ ク 長
〃	池 上 純 子	神戸市立垂水養護学校 P T A 会長	近 畿	ブ ロ ッ ク 長
〃	重 村 敏 恵	山口県立防府総合支援学校 P T A 会長	中 国 ・ 四 国	ブ ロ ッ ク 長
〃	大 城 尚 美	沖縄県立鏡が丘養護学校 P T A 会長	九 州	ブ ロ ッ ク 長
理 事	濱 川 浩 子	東京都立墨東特別支援学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	
〃	池 田 敬 史	東京都立あきる野学園校長	関 東 ・ 甲 越	
〃	東 ま す み	東京都立八王子東特別支援学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	
〃	平 間 清 志	宮城県立船岡養護学校 P T A 会長	北 海 道 ・ 東 北	
〃	黒 田 章	宮城県立船岡養護学校校長	北 海 道 ・ 東 北	
〃	北 島 日 和	東京都立江戸川特別支援学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	
〃	國 枝 孝 行	東京都立江戸川特別支援学校校長	関 東 ・ 甲 越	
〃	牧 島 千 広	長野県稲荷山養護学校 P T A 会長	中 部	
〃	葦 澤 久 人	長野県稲荷山養護学校校長	中 部	
〃	池 上 純 子	神戸市立垂水養護学校 P T A 会長	近 畿	
〃	伴 野 敬 一	滋賀県立三雲養護学校校長	近 畿	
〃	重 村 敏 恵	山口県立防府総合支援学校 P T A 会長	中 国 ・ 四 国	
〃	富 樫 敏 彦	徳島県立板野養護学校校長	中 国 ・ 四 国	
〃	池 田 里 志	岡山県立岡山養護学校 P T A 会長	中 国 ・ 四 国	大会実行委員長
〃	花 岡 徳	岡山県立岡山養護学校校長	中 国 ・ 四 国	大会主管校校長
〃	大 城 尚 美	沖縄県立鏡が丘養護学校 P T A 会長	九 州	
〃	玉 城 惇	沖縄県立鏡が丘養護学校校長	九 州	
〃	東 美 幸	宮崎県立清武せいりゅう支援学校 P T A 会長	九 州	次期大会実行委員長
〃	高 橋 和 平	宮崎県立清武せいりゅう支援学校校長	九 州	次期大会主管校校長
評 議 員	松 坂 貴 子	札幌市立北翔養護学校 P T A 会長	北 海 道 ・ 東 北	
〃	伊 藤 俊 視	札幌市立北翔養護学校校長	北 海 道 ・ 東 北	
〃	新 保 由 美	新潟県立上越養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	
〃	大 谷 幸 雄	群馬県立二葉高等養護学校校長	関 東 ・ 甲 越	
〃	小 出 朋 子	愛知県立名古屋養護学校 P T A 会長	中 部	
〃	成 富 久 香	愛知県立小牧養護学校校長	中 部	
〃	黒 川 愛 子	京都市立呉竹総合支援学校 P T A 会長	近 畿	
〃	野 坂 静 枝	神戸市立垂水養護学校校長	近 畿	
〃	池 田 里 志	岡山県立岡山養護学校 P T A 会長	中 国 ・ 四 国	
〃	花 岡 徳	岡山県立岡山養護学校校長	中 国 ・ 四 国	
〃	中 尾 ま ゆ み	佐賀県立金立養護学校 P T A 会長	九 州	
〃	社 頭 文 吾	佐賀県立金立養護学校校長	九 州	
監 事	赤 塚 京 子	東京都立小平特別支援学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	都肢 P 連副会長
〃	依 田 明	東京都立多摩桜の丘学園校長	関 東 ・ 甲 越	
事務局長	佐 竹 京 子	全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会事務局内		
事務局員	工 藤 明 子	全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会事務局内		

平成 20 年度 全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会顧問名簿

氏 名	備 考
西 端 工	昭和 56 年度～昭和 57 年度 会 長（東京都立城南養護学校）
前 田 清	昭和 58 年度～昭和 59 年度 会 長（東京都立光明養護学校）
高 本 和 昌	昭和 63 年度～平成 2 年度 会 長（東京都立城南養護学校）
永 島 弘 子	平成 3 年度 会 長（東京都立北養護学校）
谷 口 篤	平成 8 年度～平成 12 年度 会 長（東京都立北養護学校）
佐 竹 京 子	平成 13 年度 会 長（国立筑波大学附属桐が丘養護学校）
村 上 節 子	平成 14 年度～平成 15 年度 会 長（東京都立城北養護学校）
木 村 知 鶴	平成 16 年度～平成 17 年度 会 長（東京都立小平養護学校）
江 本 緑	平成 18 年度～平成 19 年度 会 長（東京都立光明特別支援学校）
中 島 秀 夫	昭和 54 年度～昭和 58 年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立小平養護学校長）
三 浦 和	昭和 61 年度～平成元年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立光明養護学校長）
青 柳 勝 久	平成 4 年度～平成 5 年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立北養護学校長）
鈴 木 峻	平成 6 年度～平成 8 年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立光明養護学校長）
林 友 三	平成 9 年度～平成 11 年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立光明養護学校長）
今 里 勉	平成 12 年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立光明養護学校長）
飯 野 順 子	平成 13 年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立村山養護学校長）
能 瀬 廉 英	平成 14 年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立光明養護学校長）
伊 東 光 雄	平成 15 年度～平成 16 年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立光明養護学校長）
福 地 周 一	福岡市立今津養護学校元 P T A 会長

埜 野 兪	昭和 50 年度～昭和 53 年度 会 長（東京都立光明養護学校）	平成 20 年 4 月 27 日ご逝去
石 川 昌 次	昭和 59 年度～昭和 60 年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立光明養護学校長）	平成 19 年 9 月 22 日ご逝去
早 瀬 俊 夫	昭和 47 年度 全国肢体不自由養護学校長会長（大阪府立堺養護学校長）	平成 19 年 6 月 23 日ご逝去

全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会規約

第一章 名 称

第1条 この会は全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会といい、事務所を当分の間次の定める場所におく。

東京都新宿区西早稲田 2 丁目 2 番地 8 号
社会福祉法人全国心身障害児福祉財団

第二章 目的及び活動

第2条 この会は特別支援学校（肢体不自由）P T A 相互の協調をはかるとともに、全国における特別支援教育・肢体不自由教育の向上発展を促進することを目的とする。

第3条 この会は前条の目的をとげるために次の活動をする。

1. 各単位 P T A の連絡、協調につとめ、会員相互の親睦を図る。
2. 肢体不自由者の福祉増進につとめる。
3. 肢体不自由教育の発展向上を促進する。
4. 肢体不自由教育費を拡充することにつとめ、またこの教育に関する諸法規の整備に協力する。
5. その他この会の目的を達するために必要な活動をする。

第三章 方 針

第4条 この会は教育を本旨とする民間団体であって、次の方針に従って活動する。

1. この会の目的を達するために、他の団体及び機関と協力する。
2. 特定の政党や派にかたよることなく、またもっぱら営利を目的とするような行為は行わない。

第四章 構 成

第5条 この会の会員は全国の特別支援学校（肢体不自由）の単位 P T A とする。

* 単位 P T A とは P T A を構成する会員の各学校組織である。

第6条 この会を構成する単位 P T A は分担金を納めるものとする。

第7条 この会を構成する単位 P T A は平等の義務と権利を有する。

第五章 役 員

第8条 この会に次の役員を置く。

1. 会 長 1 名
1. 副会長 若干名
1. 理 事 19 名以内
1. 監 事 2 名
1. 評議員 12 名

第9条 会長および副会長は理事会において互選し総会の承認を受ける。

第10条 理事は各ブロックの会員の推薦により各 2 名宛選出する。

但し、ブロックに関係なく在京の会員より 1 名、大会開催関係都道府県より 4 名以内を選出する。

第11条 評議員は、各ブロックの会員の推薦により 2 名宛選出する。

第12条 監事は理事、評議員以外の会員中より総会において選出する。

第13条 役員の任期は 1 年とする。但し、重任を妨げない。

第14条 役員の任務は次の通りとする。

1. 会長は本会を代表し、会務を総覧する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。
3. 理事は会長・副会長を補佐し、会務を処理する。
4. 評議員はこの会の重要事項を審議する。
5. 監事はこの会の経理を監査する。

第15条 この会に事務局を設ける。事務局は、事務局長・庶務・会計各 1 名をもって構成し、人事は理事会にはかり、会長が委嘱する。

第16条 理事会の推薦により顧問をおくことができる。

第六章 会 議

第17条 総会はこの会の最高決議機関であり、事業報告・決算の承認、事業計画・予算の審議及び承認、役員の承認ならびに規約の改正、その他重要事項を審議する。

第18条 総会は、定期総会及び臨時総会とする。

1. 定期総会は毎年 1 回開催する。
2. 会長が必要と認めたとき、または会員の 1/3 以上の要求があったとき臨時総会を開く。

第19条 総会は会員の過半数の出席を以て成立し、決議は出席者の 2/3 以上の同意

を必要とする。

第20条 理事会は必要に応じて開き、会長はこれを招集する。

第21条 理事会は、次のような会務を処理する。

1. 本会の重要事業を企画審議する。
2. 総会に提出する報告書の議案を作成する。
3. その他事業の推進に関すること。

第22条 評議員会は必要に応じ随時開き、会長はこれを招集する。

第23条 評議員会は次のような事項を審議する。

1. 総会及び理事会から委嘱された事項の審議。
2. その他必要な事項。

第七章 経 理

第24条 この会の経費は分担金、寄付金及びその他の収入によって支弁する。

第25条 単位 P T A の分担金は、別に定める規定により毎年 5 月に納入する。

第26条 この会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年の 3 月 31 日に終わる。

第八章 付 則

第27条 この規約は総会の議決を経なければ変更することはできない。

第28条 この会の運営に関しては、別に細則を定める。

第29条 本規約は昭和 40 年 5 月 25 日より実施する。

第30条 本規約は昭和 50 年 8 月 21 日より一部改正する。

本規約は昭和 60 年 8 月 23 日より一部改正する。

本規約は昭和 61 年 8 月 27 日より一部改正する。

本規約は平成元年 8 月 24 日より一部改正する。

本規約は平成 4 年 8 月 21 日より一部改正する。

本規約は平成 6 年 8 月 23 日より一部改正する。

本規約は平成 18 年 8 月 21 日より一部改正する。

本規約は平成 20 年 8 月 20 日より一部改正する。

全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会細則

第1条 規約第 25 条に定める単位 P T A の分担金は、当分の間児童生徒一人あたり、年額 400 円の割とする。

但し、特別の事情のある場合は免除又は減額することができる。

第2条 当分の間、ブロックは次の通りとする。「北海道・東北」「関東・甲越」「中部」「近畿」「中国・四国」「九州」

第3条 各ブロックより選出される理事及び評議員は、それぞれ父母側 1 名、教師側 1 名とする。

第4条 本会と緊密な関わりのある関係諸団体など、または、個人に対する慶弔または寸志などは、その都度、会長が副会長および事務局長にはかり決定する。

第5条 規約第 16 条における顧問は、原則として次の基準によって推挙するものと

する。

- (1) 本会の会長歴任者
 - (2) 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会歴任者
 - (3) その他、役員会が推薦するもの
- 第6条 本会は総会において次の表彰を行う。
- (1) 本会の会長が退任したとき（感謝状）
 - (2) 本会ならびに全国特別支援学校肢体不自由教育校長会合同研究大会（全国大会）開催主管校の P T A 会長（感謝状）
 - (3) 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会長の歴任者が、本会の副会長を退任したとき（感謝状）
 - (4) その他、役員会が推薦するもの
- 第7条 本細則は昭和 40 年 5 月 25 日より実施

する。

第8条 本細則は昭和 53 年 8 月 8 日より一部改正する。

本細則は昭和 55 年 8 月 21 日より一部改正する。

本細則は昭和 56 年 8 月 27 日より一部改正する。

本細則は昭和 61 年 8 月 27 日より一部改正する。

本細則は平成 2 年 8 月 23 日より一部改正する。

本細則は平成 8 年 8 月 22 日より一部改正する。

本細則は平成 20 年 8 月 20 日より一部改正する。

但し、会費の執行は平成 21 年 4 月とする。

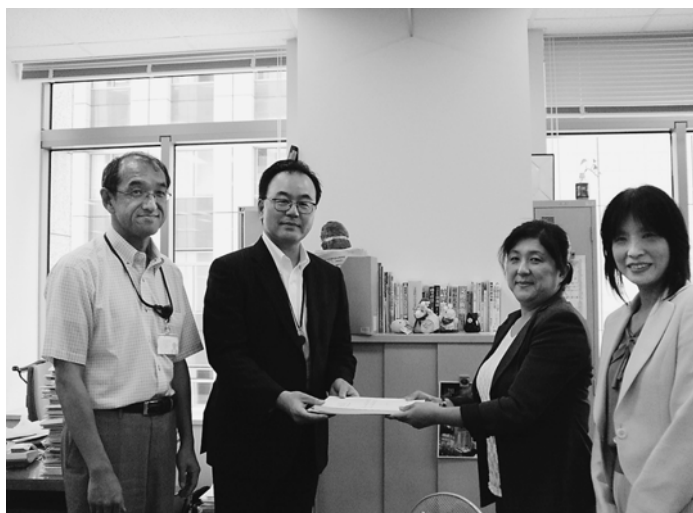
大会宣言文を国の関係機関へ提出

岡山大会が終了し、9月10日(水)文部科学省初等中等教育局特別支援教育課へ伺いました。下山直人調査官の御配慮により、永山課長へ濱川浩子新会長から大会終了の御礼と下山調査官のご出席の御礼を申し上げ、「岡山大会宣言文」をお渡し致しました。昨年から決議文ではなく宣言文といたしましたこと、皆様の総意をもって本年の総会では名称の変更がなされた事などご説明いたしました。

また、厚生労働省社会援護局へお伺いし、茅根孝雄専門官より御紹介を頂きまして、障害福祉課の藤井康弘新課長へ直接、大会宣言文をお渡し致しました。同課の長井浩康課長補佐もご同席くださり、大会終了の御礼を申し上げ懇談のお時間もございました。

同省、雇用対策課では初めてご出席を賜りました、吉澤純専門官と吉永和生課長に御礼を申し上げ、ご挨拶をさせて頂きました。大会の感想なども和やかにお話くださり、濱川新会長より、大会宣言文をお渡し致しました。

なお、10月10日(金)、全国特別支援教育推進連盟の理事会の席上、岡山大会に御臨席賜りました、三浦和理事長へ濱川浩子新会長と江本緑前会長より、ご出席の御礼を申し上げます。同日の総会におきましては濱川浩子新会長へ会長職の引継ぎをしたこと、会の名称が「全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会」と改めましたことなどをご報告し、関係各団体への挨拶とさせて頂きました。《文責 佐竹京子》



永山課長へ宣言文を渡す濱川会長

大会宣言文

全国肢体不自由養護学校PTA連合会は昨年、結成50周年を迎えました。記念の50周年大会を古都京都において開催し、高円宮妃殿下のご臨席を賜り、静ひつ且つ盛大な記念式典を行うことができました。

この年の4月には60年ぶりの改訂となる新学校教育法が施行され、特別支援教育が名実ともに歴史の一步を踏み出した節目の大会となりました。全肢P連もまた、特別支援教育の時代に向け、障害や困難のある幼児・児童・生徒の自立と社会参加

に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるため、全ての学校種が一体となって、強い連携のもとに適切な指導および支援を行うことを認識し、51年目への決意を新たにしました。特別支援教育の理念を踏まえ、各都道府県においては、盲・聾・肢体不自由・知的障害そして病弱の障害種別に捉われない併置校あるいは総合特別支援学校としての構想が着々と進み、本年も多くの併置校が誕生しています。

また、特別支援学校としての専門性を基盤とし、地域の幼稚園や小・中・高等学校の障害や困難のある幼児・児童・生徒への支援を担うセンター校としての役割も着実に進捗しつつあります。

さらには保護者も支援者の一人として、福祉・労働・医療等、関係機関と一層強固なネットワークを構築し、協働して障害のある人もない人も互いに支え合う共生・共同の社会を目指し、これまで以上の理解啓発・充実を進めるPTA活動も次々と報告されています。

本年、全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会ならびに全国特別支援学校肢体不自由教育校長会は8月19日・20日・21日の3日間、岡山県において、PTA・校長会合同研究大会『岡山大会』を開催し、総会において会の名称を「全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会」と改めるとともに「子どもたち一人一人のニーズに応じた特別支援教育・肢体不自由教育の取り組みおよび共生社会づくりの為、PTA活動はどうあるべきか」を主題に研究協議を重ねて参りました。

本研究大会において、共通理解に至った以下の重点事項を挙げ、関係するすべての機関が協力し、子どもたちの幸福な未来を実現していくことを、ここに宣言いたします。

- 乳幼児期から生涯に渡り、教育・福祉・医療・労働等の各関係機関が協力し、幼児・児童・生徒一人一人のニーズに応じた「個別の支援計画」を策定し、計画の実施、評価を通して、障害の多様化・重度重複化に対応する特別支援教育の充実を図っていきます。
- 肢体不自由教育校が地域において、「特別支援学校」として、幼稚園や小・中・高等学校への相談支援や巡回指導などが実施できるセンター的機能の充実を図っていきます。
- 特別支援教育制度への財源の確保、教員の定数配置、特別支援教育コーディネーターの配置を早期に実現していきます。
- 特別支援学校として教育を一層充実するため、障害に応じた知識・技能・経験や自立活動の専門性を備えた教職員を確保するとともに、OT・PT・ST等の外部専門職の導入や配置を進めていきます。

- 障害のある子ども達と障害のない子ども達が居住地域での小中学校などとの交流および共同学習等を通して共に理解し合い育ち合う基盤づくりを進めていきます。
- 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所における肢体不自由教育の専門的な研修等の積極的な推進と特別支援教育コーディネーターの資質の確保、教員の専門性・資質の向上を図っていきます。
- 特別支援学校における医療的ケア実施体制整備事業を踏まえた体制整備（厚生労働省：平成16年10月通知）を具現化するための看護師の配置を進めていきます。
- 医療的ケアを必要とする児童生徒の安全・衛生面の管理、及び特別支援学校における医療的ケア実施体制整備事業を踏まえた体制整備とともに協力して進めていきます。
- 情報機器の整備とAACとその関連機器の開発および肢体不自由児・者のためのコミュニケーション支援・就労支援など機器を活用したIT指導の充実を図っていきます。
- 卒業後の自立や社会参加に向けて「個別の移行（就労）支援計画」を作成し、教育・労働関係機関等が連携し、就業支援を促進していきます。
- 障害のある児童生徒が等しく教育を受ける権利を確立するために、義務教育国庫負担制度及び就学奨励費制度とその財源の確保を進めていきます。
- 障害のある者が社会参加や自立生活ができるよう、「障害者自立支援法」に基づく福祉制度の充実と利用者本位の福祉サービス等の環境の整備を進めていきます。
- 社会参加や自立生活がしやすいように「障害者自立支援法」を見直し、地域生活を支える障害福祉サービスを利用する障害児・者ならびに家族の経済的負担の軽減を進めていきます。
- 重症心身障害児・者の通所・通園事業を促進し、医療的ケアの必要な障害児・者も地域で生活ができるよう、サービス事業の整備を進めていきます。
- 公共の施設において、障害のある者もない者も施設を利用しやすいようにバリアフリー化に向けた具体的な施策を促進していきます。

平成20年8月21日

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会
全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

TOTO「バスリフト」は 電動シートが昇降し、 浴槽での立ち座りや 出入りをサポート致します

TOTOバスリフト

<商品の特徴>

- ①浴槽での立ち座りや出入りをサポートします。電動シート部分が昇降するため、入浴介助の負担も軽減します
- ②本体は浴槽リムに乗せて内側に突っ張るだけなので簡単に取り付けられます
- ③シートは着脱できますので、ご家族の入浴にも差し支えありません



希望小売価格：¥298,000（税込み¥312,000）

- 商品情報、お近くのショールーム情報などは
TOTO ホームページをご覧ください

<http://www.toto.co.jp/>

- 商品のお問い合わせ・ご相談はお客様相談室へ
フリーダイヤル 0120-03-1010

受付時間：平日 9:00～18:00

土日祝日 10:00～18:00

※夏期休暇・年末年始を除く

新設校・新加入校紹介

昨年度は、佐賀県に特別支援学校が新たに設置され、また熊本県と岡山県から2校新たに加入されました。どうぞよろしくお願い致します。

佐賀県立うれしの特別支援学校

明るく・仲よく・誇らしく

新しく加入させていただきましたうれしの特別支援学校です。どうぞよろしくお願い致します。

うれしの特別支援学校は、九州は佐賀県の西南部、温泉とお茶どころの嬉野市の一部である塩田町に平成19年4月に開校し二年目を迎えた知・肢併置の学校です。

小学部、中学部、高等部の三つの学部を持ち、初年度は58名（知45名、肢13名）、今年度89名（知74名、肢15名）に増加しています。44名が利用できる寄宿舎の設置もあり、平成20年度38名が利用しています。

校舎はオールバリアフリーの木造平屋建て瓦葺きで、地元塩田町に伝わる伝統的な商家のイメージを取り入れた温かみのある落ち着いた雰囲気を持ち、各所に自動ドアや障害者用のトイレ等の各種施設、開放型の窓を支える強化ガラス、環境に優しいグラウンドの芝などを備えています。

平成19年7月には、佐賀県で開催された2007青春佐賀総体の総合開会式に御臨席された皇太子殿下が本校にも行啓され、親しく児童生徒や保護者の方々にお声をかけていただき、開校の年に花を添えていただきました。

さて、うれしの特別支援学校は知・肢併置の学校であるため、PTAの活動も複雑にはなりますが、PTAとしては一本で、知や肢の区別なく、和気あいあいと協力して学校を支えていただいています。PTAとしても駆け出しですが、平成20年度の夏は、地域の高等学校の生徒さんの協力を得て、知・肢合同でのボランティア養成講座を立ち上げたり、地域の障害者団体の文化的発信であるハートフル日だまりコンサートに出演する予定であるなど、学校の教育活動を積極的に支えるとともに活動の輪を広げようとおんばっておられます。

学校も、このPTAのみなさんのがんばりに負けないよう、明るく、仲よく、誇らしい児童生徒の育成を旗印に、がっちりスクラムを組んでがんばりたいと思います。これからいろいろとお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。

(校長 山 口 俊)

熊本県立芦北養護学校

心と心のキャッチボールが上手な芦養

本校は、昭和52年2月1日に、重度重複障害の肢体不自由養護学校として、芦北学園発達医療センターの1棟を借用して開校しました。昭和62年に創立10周年、平成8年に創立20周年を迎え、超重症の子どもたちにベッドサイドでの訪問教育が導入されました。平成16年、学齢超過者の教育が開始され、平成18年には創立30周年の記念式典を盛大に催し、今年で32年目を迎えます。その間、文部省指定の心身障害児理解推進校（S60・61）や交流活動地域推進協力校（H8・9）、特殊教育協力校（H17・18）など、重複障害教育の充実に向け長年、研究を積み重ねてきました。

さて、本校の教育理念は、「いのちの輝きと共生の教育」です。校訓の“元気で明るい子ども”“ねばり強くがんばる子ども”“仲良く共に遊べる子ども”は本校の目指す児童生徒像です。日々、子ども一人一人が持っている力や特性を見極め、きめ細やかな指導を行い、充実した学校生活を送れるよう取り組んでいます。

ところで、最近では心と心のキャッチボールがうまく出来ずに、いろいろな事件が多発しています。相手の心をよく読んで、相手が今どう思っているのか、どんなことを希望しているのか、相手の目をよく見て理解することが大切です。そのためには、日頃から心のキャッチボールの特訓が必要です。幸いに、本校の教職員は、このキャッチボールがとても上手です。それを子どもたちもすぐにキャッチするので、実にさわやかで、明るく元気に育っています。

また、交流教育は、昭和54年に芦北町立計石小学校と実施以来、今年で30年目になります。その後、佐敷中・佐敷小・芦北高・水俣工・平国小・吉尾小・佐敷幼等各学校にお世話になり充実した交流教育が続いています。PTA活動も、村添政幸会長を中心に、PTA研修（9月）、にこにこふれあい発表会（11月）、お楽しみ会（12月）等、保護者と一体となった学校行事を目指しています。最後に、本校は、芦北学園発達医療センターと連携し、保護者や地域の方々から信頼される芦養を目指し、なお一層のチームワークを強化していきたいと思っています。

(校長 松 本 幸 夫)

岡山県立西備養護学校

本校のご紹介

本校は、岡山県の南西部に位置する肢体不自由と知的障害部門を併置した特別支援学校で現在 104 名の児童生徒数が在籍しています。また、広い敷地を有する自然豊かな丘陵地に立地しており、ゆったりとした雰囲気の学校です。そして、現在、作業学習の見直し、知的に高い児童生徒への対応、専門性に基づいた児童生徒への支援等、時代の流れを着実につかんでいこうと教職員一同がんばっているところです。

また、知肢併置校ですので、双方の教育の利点を活かしながら教育を進めていける特徴を持っています。例えば、近年の自閉症児教育における、「環境側の調整に力点を置いた支援」、「専門性に裏付けられた共感的支援」、「具体性を持った対応」などは、重度の肢体不自由教育での考え方でもありそうです。この様な視点を、双方が出し合い、確認し合えば自分たちの教

育をもう一度新鮮な目で見て深めていくことができるのではないのでしょうか。

ところで、岡山県の南西部に位置する本校は、この地域の特別支援教育のセンター校としての役割も担っています。地域支援は、逆に、自分たちの力を高めていくことのできる機会でもあると考えています。そのため、活発に支援活動、連携活動を行っています。

最後に、PTA会長をはじめとする保護者の方々の「子どもたちのために学校を良くしていこう」、「子どもたちを中心に置けば、どんなことでも手を携えることができる」というお言葉はありがたく、多くの応援をいただいて、日々の教育活動に取り組んでいます。また、地域の方々も様々な行事に何かと協力をしてくださり、何気ない時にふと温かい視線を背に感じることもあります。本校の教育目標は、「明るく、元気に、たくましく」ですが、学校の特色は、「明るく、元気に、たくましく、そして、あたたかく」ではないかと思っています。

(校長 小坂田 知生)

出かける喜びを、一人でも多くの方へ。 日産のライフケアビークル

クリッパーリオ チェアキャブ
スロープタイプ



セレナ チェアキャブ スロープタイプ



目的にあわせて4つの中から、ご希望の仕様をお選びいただけます！

パーソナル向け

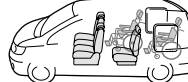


車いす1名 セカンド仕様



車いす1名 サード仕様

施設向け



車いす2名仕様



セレナ
だけ!

車いす1名 送迎仕様

出かける喜びをシフトする。日産自動車グループでは、生活のいろいろなシーンでお役に立ちたいとの意味を含め、福祉車両を「ライフケアビークル」LV (Life Care Vehicles) と呼んでいます。ライフケアビークルについてのご相談は、お近くの日産自動車販売会社で承っております。カタログをご要望の方は下記オーテックジャパンでも承っております。

日産自動車株式会社 LV.nissan.co.jp カタログご希望の方はオーテックコールセンター ☎ 0120-116-527 まで。受付時間 9:00~18:00 月~金 (祝日を除く)



SHIFT_potential



全国肢体不自由養護学校PTA連合会
全国肢体不自由養護学校長会 推薦

お子さまのための 全肢P連安心補償制度

【補償内容】

- ①死亡保険金
- ②ケガによる入院保険金
- ③ケガによる通院保険金
- ④育英費用
- ⑤損害賠償補償
- ⑥葬祭費用 (ご親族が負担された疾病や傷害で万が一の時 (ご契約後発病) の葬儀費用を実費でお支払いします。)
- ⑦セカンドオピニオン アレンジサービス (より良い医療を選択するために、主治医以外の医師に現在の診断に対する見解や今後の治療方針、方法について意見を聞く事ができます。)
- ⑧マイホームドクター24 (ご加入の方とご家族対象に、補償期間中いつでも電話一本で、医師・看護師による医療・健康・ストレス相談が無料で受けられます。)

【年間制度掛金】 Aプラン 12,000円 ・ Bプラン 9,000円 ・ Cプラン 6,000円

詳しくは全肢P連ホームページまでアクセスして下さい <http://www.zsp.jp/>

お問い合わせ・事故の報告は 全肢P連安心補償制度事務局

〒162-0051 東京都新宿区西早稲田2丁目2番8号 TEL: 0120-313-186 FAX: 0120-090-027

1年を通じてお申し込みができますので、お気軽にお電話ください!

制度引受保険会社: A I U 保険会社





平成 20 年 9 月 10 日、旧文部科学大臣の展示室を見学してきました。

【訃報】

埜野兪様（享年 83 歳）が、去る平成 20 年 4 月 27 日ご逝去されました。生前は全肢 P 連顧問（昭和 50 年度～昭和 53 年度の会長）であり、平成 17 年度の岐阜大会では鼎談にご参加くださり、大変お元気なようすでしたが、突然の悲報でございました。また、現役の弁護士さんとしてもご活躍されておりました。心より感謝とご冥福をお祈りいたします。

＝編＝集＝後＝記＝

今年は報道で言われているように温暖化なのでしょうか、異常気象が目立った年になりました。ゲリラ豪雨などが各地で起こり、被害が相次ぎました。社会的にも弱い立場の子ども達に被害などがないように願っております。

今回は総会でご承認頂きましたので、部数が減少しております。不足の場合は HP よりダウンロード印刷が可能です。

＜事務局長 佐竹京子＞

goo.N **スーパー-BIG** 子供用と大人用の中間サイズ

エリエール

テープ止めタイプ

何度でも付け直せる
ピッタリ簡単!



パンツタイプ

ふんわり
やさしい
肌ざわり



横モレを
2重にガード

適応範囲の目安

ウエストまわり

50~70cm

体 重

15~35kg

吸 収 量

おしっこ約4回分

宅配によるご購入をご希望の方は、お電話またはインターネットにて購入できます。

インターネット

<https://www.elis-st.com/shopping/index.php?mod=1>にアクセスしてお申し込みください。または、「グーン」で検索。グーンHPから『エリエール宅配サービス』へ

お電話

0120-888-571 (株)セイノー商事)までお申し込みください。(受付：平日9:00~17:00)